

桜島の噴火警報を切り替え

—噴火警戒レベル3が継続—

桜島昭和火口では3月12日15時07分に爆発的噴火が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が2合目（昭和火口から2km付近）まで達しました。

このことから、桜島の噴火活動は活発化する恐れがあり、南岳山頂火口から2km及び昭和火口から2kmを超えた居住地域近くの範囲（昭和火口から概ね2.4km）で大きな噴石及び火砕流に警戒が必要であることから、同日15時35分に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）の切り替えを発表しました。

3月12日15時07分の爆発的噴火以降、大きな噴石が2合目まで飛散する爆発的噴火の発生はなく、地震活動、地殻変動に特段の変化はみとめられず、噴火活動がさらに活発化する兆候は、いまのところみられません。

このため、警戒が必要な範囲を、昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲に縮小することとし、本日（21日）11時に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）の切り替えを発表しました。

桜島では活発な噴火活動が続いていますので、今後も引き続き、昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

風下側では、降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、爆発的噴火に伴う大きな空振や、降雨時には土石流に注意が必要です。